

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 28 年 4 月 7 日 (2016.4.7)

【公開番号】特開 2014-231183 (P2014-231183A)

【公開日】平成 26 年 12 月 11 日 (2014.12.11)

【年通号数】公開・登録公報 2014-068

【出願番号】特願 2013-113097 (P2013-113097)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/045 (2006.01)

B 4 1 J 2/055 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 2 月 18 日 (2016.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の吐出孔と、複数の前記吐出孔にそれぞれ繋がっている複数の加圧室と、複数の前記加圧室にそれぞれ繋がっており各々しぼりを有する複数の個別流路と、複数の前記個別流路が接続されているマニホールドと、を有する流路部材と、  
該流路部材の上に積層されており、前記複数の加圧室をそれぞれ加圧する圧電アクチュエータ基板と、  
を有しており、

前記圧電アクチュエータ基板は、圧電体層と、該圧電体層における前記流路部材と反対側の主面上に配置されている複数の個別電極と、前記圧電体層を間に挟んで前記複数の個別電極と対向する共通電極と、を有しており、

前記個別電極は、前記加圧室と重なっている個別電極本体と、該個別電極本体から前記加圧室と重ならない位置まで引き出されている引出電極とを含んでおり、

該引出電極の直下の前記流路部材に、前記吐出孔と繋がっていない空隙部が存在するとともに、該空隙部の直下に前記しぼりが位置しており、前記空隙部は、前記引出電極と前記しぼりとの間に位置していることを特徴とする液体吐出ヘッド。

【請求項 2】

前記空隙部は、積層方向において、前記加圧室よりも前記圧電アクチュエータ基板側に位置することを特徴とする請求項 1 に記載の液体吐出ヘッド。

【請求項 3】

前記圧電アクチュエータ基板を平面視したとき、前記空隙部は、前記引出電極に沿って、前記加圧室と重なる位置まで伸びていることを特徴とする請求項 2 に記載の液体吐出ヘッド。

【請求項 4】

前記空隙部は、前記引出電極の引出方向に直交する方向の幅を  $W [\mu m]$  としたとき、前記空隙部は、前記圧電アクチュエータ基板からの距離が  $W [\mu m]$  以下の位置にあることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の液体吐出ヘッド。

【請求項 5】

前記流路部材と前記圧電アクチュエータ基板とが接着剤層を介して積層されており、前

記空隙部が、前記接着剤層の存在しない部位であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の液体吐出ヘッド。

【請求項 6】

前記流路部材は、複数のプレートを、接着剤層を介して積層されており、前記空隙部が、前記接着剤層の存在しない部位であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の液体吐出ヘッド。

【請求項 7】

前記空隙部が外部の空間と繋がっていることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の液体吐出ヘッド。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の液体吐出ヘッドと、記録媒体を前記液体吐出ヘッドに対して搬送する搬送部と、前記液体吐出ヘッドを制御する制御部とを備えていることを特徴とする記録装置。